

総合戦略 効果検証シート

資料1-1

基本目標 (Plan)	1 はつかいちの「産業」はニュースにあふれている!!! ～そこ！に着目するはつかいち～						
KGI	現状値(R1)	実績値(R3)	実績値(R4)	実績値(R5)	実績値(R6)	目標値(R7)	進捗状況
市内総生産額	3,539億円 (H29)	3,766億円 (R1)	3,667億円 (R2)	3,721億円 (R3)		4,000億円	○

【KGI・KPIの進捗状況凡例】 ◎: 目標値達成 ○: 現状値(R1)から改善 △: 現状値(R1)と同数又は後退 【施策の評価凡例】 KPIの平均点が 4点以上: 達成 2点以上4点未満: やや達成 2点未満: 要改善 (KPIの進捗状況 ◎: 5点 ○: 3点 △: 1点)

施策体系			施策達成度							
施策1	コレできる！新しい仕事のカタチ発掘		要改善	現状値(R1)	実績値(R3)	実績値(R4)	実績値(R5)	実績値(R6)	目標値(R7)	進捗状況
KPI	創業支援等事業計画を活用した市内創業者数			101人	69人	97人	69人		110人	△
施策2	お宝ザクザクはつかいち		やや達成	現状値(R1)	実績値(R3)	実績値(R4)	実績値(R5)	実績値(R6)	目標値(R7)	進捗状況
KPI	①JA産直市場の売り上げ高			1億9,000万円	2億9,000万円	3億1,000万円	3億円		2億2,000万円 (R3)	◎
	②認定農業者数・認定新規農業者数			32者	32者	34者	35者		47者	○
	③認定農業者の内スマート農業に取り組む者			-	3者	3者	2者		10者	△
	④漁業生産額			30億円 (H28)	30億円 (R2)	30億円 (R3)	30億円 (R4)		30億円	◎
	⑤観光消費額			287億円	127億円	220億円	345億円		310億円	◎
	⑥観光客一人当たりの消費額(観光消費額/観光客数)			3,627円	3,869円	4,094円	4,300円		4,000円	◎
	⑦事業継続強化計画の認定を受けた市内事業者数(累計)			6社	58社	64社	86社		50社	◎
	⑧産業経済団体、産業支援機関等を活用したビジネスマッチングへの参加事業者数			87社	43社	56社	71社		100社	△
	⑨地元の食材を提供するホテル旅館及び飲食店数			-	-	-	-		10件	-
	⑩市内の農水産物を購入している市民の割合			31.8%	31.2%	31.9%	31.4%		37.0%	△
	⑪産業支援機関等を活用した事業承継成立件数			0件	1件	2件	0件		5件	△
	⑫産業支援機関等が開催するビジネスフェアへの参加企業数			17社	3社	7社	11社		35社	△

施策3	新たな「人・モノ・コト」を開拓する	達成	現状値(R1)	実績値(R3)	実績値(R4)	実績値(R5)	実績値(R6)	目標値(R7)	進捗状況
KPI	法人市民税の申告件数		2,615件	2,572件	2,730件	2,762件		2,615件	◎

総合分析 (Check)	KGIの実績値(R3)は3,721億円であり、現状値(H29)3,539億円から182億円増加、実績値(R1)から45億円減少、実績値(R2)から54億円増加している。 令和2年度に総生産が減少したが、令和3年度には再び増加している。これは令和2年度の新型コロナウイルスの影響による経済停滞が要因と考えられ、令和3年度に経済が回復してきたものと考えられる。 しかし、宿泊・飲食サービス業の生産額においては令和3年度も連続して減少している。(R1:12,271百万円→R2:6,943百万円→R3:6,558百万円) ただ、KGIは2年のタイムラグがある。⑥観光客一人当たりの消費額(観光消費額/観光客数)をみれば令和5年度における宿泊・飲食サービス業の回復が読み取れる。
今後の対応 (Action)	KGIの目標達成に向けては令和7年度(R5実績)に279億円不足しているため、引き続き、創業者や認定農業者の確保、事業継承、観光ブランド力の向上などに力を入れ、進捗が△であるKPIを好転させ、雇用の増大や生産・売上の拡大につなげていく。

推進会議の意見	
・観光消費額と、観光客1人当たりの消費額は、令和5年をトップに、令和7年に向け下がっていくものか。消費額の単価も4300円から4000円に下がっていくものか。 ・インキュベーション施設を終了し、創業支援補助金を創設したということだが、施策1のKPI「創業支援等事業計画を活用した市内創業者数」が令和5年度に減少している。これは、インキュベーション施設を閉鎖し、創業支援補助金を創設したことがマイナス要因になった可能性はないか。 ・しゃもじん創業塾がもうすぐ創業する人のための制度というイメージだとすれば、これから創業する人のための制度としてスタートアップ施設等を整備する事は行わないのか。 ・地産地消宣言店について、制度を利用したいお店が数多くあるように思う。生産者と飲食店とのマッチング自体も増やしていけるような施策になればいいと思う。	

総合戦略 効果検証シート

資料1-1

基本目標 (Plan)	2 住みたくなる！ちょういいまち ～そこ！そこ！！のはつかいち～意外と知らない、魅力いっぱいのもち						
KGI	現状値(R1)	実績値(R3)	実績値(R4)	実績値(R5)	実績値(R6)	目標値(R7)	進捗状況
人口の社会動態	転入超過 (213人)	転入超過 (174人)	転入超過 (238人)	転入超過 (505人)		転入超過	◎

【KGI・KPIの進捗状況凡例】 ◎:目標値達成 ○:現状値(R1)から改善 △:現状値(R1)と同数又は後退 【施策の評価凡例】 KPIの平均点が 4点以上:達成 2点以上4点未満:やや達成 2点未満:要改善 (KPIの進捗状況 ◎:5点 ○:3点 △:1点)
--

施策体系		施策達成度							
施策1	ウェルカムはつかいち ～暮らしを楽しむ魅力いっぱい のまち～	やや達成	現状値(R1)	実績値(R3)	実績値(R4)	実績値(R5)	実績値(R6)	目標値(R7)	進捗状況
KPI	①市の取組を知り、廿日市市に暮らすことに興味・関心がわいた20歳代～40歳代の割合		46.8%	46.0%	46.1%	49.5%		60.0%	○
	②20歳代～40歳代の転入者数		2, 864人	2, 475人	2, 634人	2, 527人		2, 900人	△
施策2	はつかいち再発見	要改善	現状値(R1)	実績値(R3)	実績値(R4)	実績値(R5)	実績値(R6)	目標値(R7)	進捗状況
KPI	現在の地域に住みたいと思う市民の割合		79.3%	78.0%	79.3%	76.7%		80.0%	△
総合分析 (Check)	KGIの令和5年度実績は転入超過のため、進捗状況は「◎(目標値達成)」となっており、人数についても現状値、R4実績値を上回っている。 令和5年度は社会動態については全地域で増加となっており、特に、0～9歳及び30代の転入が多いことから、子育て世代から選ばれていると考える。 昨年度は施策1、2どちらも「△(要改善)」であり下落傾向にあったが、今年度はKPI①「市の取組を知り、廿日市市に暮らすことに興味・関心がわいた20歳代～40歳代の割合」について値が向上しており、シティプロモーションに一定の効果があったと考える。 施策2の「現在の地域に住みたいと思う市民の割合」を年齢別に見ると、18歳～29歳が60.1%と他の年代と比べ特に低いが、令和元年の現状値(18歳～29歳が52.8%)と比較すると7.3%増加しており、若年層に向けた施策に効果が見られている。引き続き、若年層が市の魅力をより深く認識し、愛着心を育むことができるよう取り組んでいく必要がある。								
今後の対応 (Action)	子育て世代をメインターゲットに、市の公式Instagram、公式LINEの効果的な活用等、メディアプロモーションの取組を推進するとともに、中山間地域への移住に一定の成果が出ている空き家バンク制度については、登録物件の掘り起こしや移住定住ニーズに応じた物件案内を行う。 HIROHAI佐伯総合スポーツ公園内で回遊促進に資するイベントを開催することで賑わいを創出し地域の活性化を図る。 児童、生徒のシビックプライド醸成は、その後のライフイベント(就職、結婚、子育て、住宅購入など)に向けた取組であり、結果がすぐに現れるものではないが、将来的な定住促進につなげるため、引き続き、ふるさと学習や地域との交流活動などの取組を実施していく。								

推進会議の意見

- ・0から9歳及び30代の転入が多い中で、実際に廿日市市の転入者へ理由を聞く取り組みをしていれば教えて欲しい。
- ・基本目標2の施策1のKPIに関連して、転入者数が目標地に近づいたとしても、転出者数がそれを上回ってしまえば人口増とはならないため、転出者数も意識をしたい。
- ・今後の対応の中山間地域の魅力向上に関する記載はどのように総合分析に結び付くのか。
- ・施策2のKPI「現在の地域に住み続けたいと思う市民の割合」について、住み続けたいと思わないという回答をした人に対して、聞き取りをしているのであれば教えてほしい。
- ・広島県内に対するプロモーションは単なる人口の奪い合いになっていると言う視点もある。プロモーションは広島に対してであったり、東京に対してであったり、どのような地域に対して重点的に行ってるものか。
- ・高校生が進路選択をするにあたり、親の意見が大きな影響をあたえたと聞く。親はテレビCMを行ったり直接消費者と取引したりするような知名度の高い企業に就職してほしいと考える傾向にあるが、企業間取引を行うような地元企業であっても魅力のある会社はたくさんあり、その魅力ある地元企業をいかに生徒やその親に知ってもらうかが若年者の地域定着につながると考える。

総合戦略 効果検証シート

資料1-1

基本目標 (Plan)	3 子育て世代に選ばれ続ける「そこ！」が大事 子どもたち、みんな“はつかいちの子” ～みんなで子育て～						
KGI	現状値(R1)	実績値(R3)	実績値(R4)	実績値(R5)	実績値(R6)	目標値(R7)	進捗状況
合計特殊出生率	1.41 (H30年度確定値)	1.33 (R2年度確定値)	1.43 (R3年度確定値)	1.37 (R4年度確定値)		1.44	△
0～14歳の社会動態	転入超過 (203人)	転入超過 (255人)	転入超過 (210人)	転入超過 (243人)		転入超過	◎
将来の夢や目標を持っている児童・生徒の割合	(小学校)85.9% (中学校)76.4%	(小学校)80.6% (中学校)69.7%	(小学校)81.8% (中学校)71.2%	(小学校)80.8% (中学校)68.3%		(小学校)89.0% (中学校)78.0%	(小学校)△ (中学校)△

【KGI・KPIの進捗状況凡例】 ◎:目標値達成 ○:現状値(R1)から改善 △:現状値(R1)と同数又は後退 【施策の評価凡例】 KPIの平均点が 4点以上:達成 2点以上4点未満:やや達成 2点未満:要改善 (KPIの進捗状況 ◎:5点 ○:3点 △:1点)
--

施策体系		施策達成度							
施策1	子育てが楽しくなるまちづくり	やや達成	現状値(R1)	実績値(R3)	実績値(R4)	実績値(R5)	実績値(R6)	目標値(R7)	進捗状況
KPI	①この地域で子育てをしていきたい人の割合		98.1%	98.4%	97.6%	98.6%		99.0%	○
	②ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある保護者の割合		81.6%	84.1%	81.2%	81.1%		83.0%	△
施策2	まち全体で子どもを育てる	やや達成	現状値(R1)	実績値(R3)	実績値(R4)	実績値(R5)	実績値(R6)	目標値(R7)	進捗状況
KPI	①コミュニティ・スクールの導入校数		0校	3校	27校	27校		27校	◎
	②ICTを活用した授業を実施している教師の割合		(小学校)72.0% (中学校)67.4%	(小学校)66.1% (中学校)67.0%	(小学校)77.2% (中学校)74.3%	(小学校)81.0% (中学校)79.1%		(小学校)100% (中学校)100%	(小学校)○ (中学校)○
	③外国人と積極的にコミュニケーションを図りたいと思う児童・生徒の割合		(小学校)81.9% (中学校)49.9%	(小学校)68.8% (中学校)50.3%	(小学校)68.5% (中学校)53.7%	(小学校)68.0% (中学校)51.4%		(小学校)85.0% (中学校)60.0%	(小学校)△ (中学校)○
	④朝食を毎日食べる児童・生徒の割合		(小学校)96.0% (中学校)94.3%	(小学校)95.4% (中学校)92.2%	(小学校)96.1% (中学校)93.7%	(小学校)95.6% (中学校)93.0%		(小学校)100% (中学校)100%	(小学校)△ (中学校)△
	⑤自分の良さは周りから認められていると回答した児童・生徒の割合		(小学校)74.6% (中学校)72.2%	(小学校)76.3% (中学校)70.7%	(小学校)79.6% (中学校)74.5%	(小学校)77.0% (中学校)73.5%		(小学校)75.0% (中学校)75.0%	(小学校)◎ (中学校)○

総合分析 (Check)	KGIの中で「0～14歳の社会動態」は「◎(目標値達成)」となっており、他自治体の子育て世代から選ばれるまちづくりに一定の成果が出ている。 一方、「合計特殊出生率」は「△:現状値(R1)と同数又は後退」となっており、子育て世代が抱えるこどもを持つことへのハードルを下げることができていない。 KGIの「将来の夢や目標を持っている児童・生徒の割合」は「△(現状値から後退)」となっている。
今後の対応 (Action)	市独自の施策であるこども医療費給付事業や不妊治療費助成事業の維持・制度拡充を検討していく。また、引き続き各地域のネウボラや関係機関との連携を実施し、妊産婦が安心した出産・育児を迎えられるよう支援する体制を推進していく。 出生時、転入時に各種制度の対象者へ丁寧な説明を行い、申請受付を行う。更新時の制度説明文を同封する事で、制度の周知を継続していく。 コミュニティスクールの導入により、保護者・地域住民がこどもの夢をサポートし、児童が多様な経験を通じて夢を持つ機会を提供することや、ICTやALTの活用から、児童の興味を引き出し学びの幅を広げ夢の持ちやすい環境を整備していく。

推進会議の意見	

総合戦略 効果検証シート

資料1-1

基本目標 (Plan)	4 「そこ！が好き」はつかいち ～はつかいちの心を育む～						
KGI	現状値(R1)	実績値(R3)	実績値(R4)	実績値(R5)	実績値(R6)	目標値(R7)	進捗状況
まちに愛着があると答える市民の割合	78.4%	78.6%	77.3%	76.8%		80.0%	△

【KGI・KPIの進捗状況凡例】 ◎: 目標値達成 ○: 現状値(R1)から改善 △: 現状値(R1)と同数又は後退 【施策の評価凡例】 KPIの平均点が 4点以上: 達成 2点以上4点未満: やや達成 2点未満: 要改善 (KPIの進捗状況 ◎: 5点 ○: 3点 △: 1点)

施策体系		施策達成度		現状値(R1)	実績値(R3)	実績値(R4)	実績値(R5)	実績値(R6)	目標値(R7)	進捗状況
施策1	はつかいち大好きっ子！を育てる	やや達成								
KPI	自分の住んでいる地域のことが好きな児童・生徒の割合			(小学校)92.7% (中学校)82.1%	(小学校)90.9% (中学校)78.2%	(小学校)93.8% (中学校)86.4%	(小学校)92.6% (中学校)84.9%		(小学校)93.0% (中学校)86.0%	(小学校)△ (中学校)○
施策2	安心して暮らせるまちをつくる	やや達成								
KPI	①災害による死亡者数			0人	0人	1人	0人 (R1からの累積値1人)		0人	◎
	②市内の犯罪認知件数(廿日市署管内)			377件	329件	303件	387件		320件以下	△
	③適切に医療機関を利用できるとする市民の割合			41.2%	34.8%	35.4%	34.5%		44.0%	△
施策3	住み続けたい！をかなえる	やや達成								
KPI	①都市拠点(市役所周辺)で必要な誘導施設の充足率			100%	100%	100%	100%		100%	◎
	②支所周辺が地域の中心地としてふさわしいと思う市民の割合			77.7%	66.4%	70.4%	67.6%		80.0%	△
	③公共交通で安全、快適、円滑に目的地まで移動できるとする市民の割合			71.9%	69.3%	70.1%	67.9%		75.0%	△
	④地域課題を地域主体で課題解決に向けて取組をしていると思う市民の割合			15.8%	15.1%	14.3%	15.8%		32.1%	△
	⑤福祉・介護に関するサービスが適正に提供されていると思う市民の割合			36.9% (R2年度)	37.0%	36.3%	36.8%		50.0%	△
	⑥市民センターが利用しやすいと思う市民の割合			44.2%	44.1%	46.2%	49.7%		50.0%	○

総合分析 (Check)	KGIは令和元年度の現状値から1.6%低下し「△(現状値から後退)」となり、令和4年度の実績値からも0.5%低下している。年齢別では特定の年代が低下していることはなく全体的に低下している 施策1のKPI「自分の住んでいる地域のことが好きな児童・生徒の割合」に関しては令和4年度では目標値を達成していたが、令和5年度ではやや達成となっている。この数値を向上させることが将来的なKGIの改善に繋がると考えるため、重点的に取り組む必要があると考える。 施策3KPI②「支所周辺が地域の中心地としてふさわしいと思う市民の割合」について、減少傾向にある一方で、施策3KPI⑥「市民センターが利用しやすいと思う市民の割合」については増加傾向にあり、市民センターが地域の拠点として機能していることが考えられる。
今後の対応 (Action)	児童・生徒に向け地域を素材とした学習を通じて、地域への愛着やシビックプライドの醸成を図るとともに、より効果的な探究活動を進めるための支援(出前授業)を行う。 地域自治組織の情報交換会を通じて、地域課題解決の取り組みの先進事例紹介などを行う。オンライン形式は参加しやすい反面、参加者個人の情報交換やワークショップの実施が難しいなどの課題があるため、更に効果的に目的達成ができる方法を検討する。 各地域の支所・市民センター等の機能及び拠点性を高め、拠点と拠点の交通ネットワークを円滑にしていく。

推進会議の意見	
・廿日市にこれからどういう特徴を持たせるかということが、見えなくなってきたような気がする。他都市と競争していく中で、どこかと競争するための指標っていうのができてしまっていると感じており、もう一回、磨き直さなければ廿日市の特徴がぼんやりしてくる可能性があると思う。基本目標の4は住んでいる人がこれからも住み続けることを重視している目標だと思うが、KGIは△で、KPIも例えば、施策2のKPI「②市内の犯罪認知件数(廿日市署管内)」や「③適切に医療機関を利用できると思う市民の割合」、施策3のKPI「②支所周辺が地域の中心地としてふさわしいと思う市民の割合」など市民の意識が反映されるものは△となっている。住んでいる人の不安感などが見え始めていると思っている。転入してくる方たちがいなければ転入超過にならないため、そこに対する取り組みを進める一方で、廿日市の良さを見直さなければいま住み続けている方たちの不安感が増し、そこに一緒にいるこどもたちへも伝播していくと考えるため、特に基本目標4の進捗状況が△となっている指標を改善する方法を考えていく必要があると思っている。	

